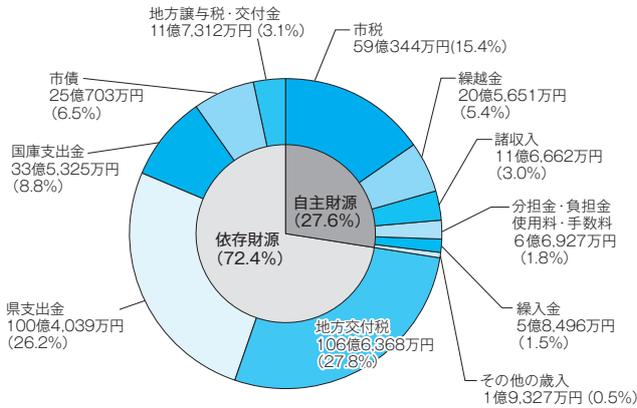


# 二本松市の財政

## 一般会計歳入

383億1,154万円(前年比29.4%増)



## 財政公表について

市民の皆さんが納めた「税金」をはじめとして、「市の財産」「借りているお金」「国・県からの補助金」などのお金がどのように使われているかを知っていただくため、定期的に財政状況を市民の皆さんに公表しています。

今回は「平成24年度決算」の概要をお知らせします。

## 平成24年度決算の概要

### 平成24年度一般会計決算額

歳入総額 383億1,154万円  
 歳出総額 357億6,514万円  
 差引 25億4,640万円  
 平成25年度へ繰り越すべき財源  
 8億4,890万円

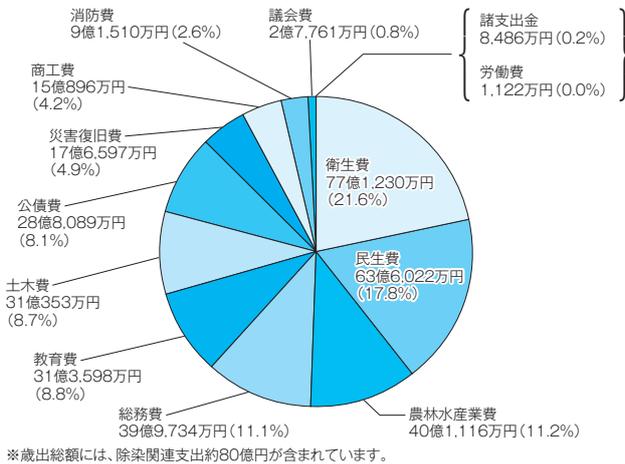
実質収支額 16億9,750万円

歳入では、県支出金のうち除染対策事業交付金が大幅に増加したほか、国庫支出金も公立学校等の災害復旧費分野で前年と比べて増額しました。一方で市税のうち固定資産税が評価替え等により減少しました。

歳出では、住宅や農地等の除染事業実施のため、衛生費や農林水産業費が大幅に増加しました。主な概要については7ページに掲載しています。

## 一般会計歳出

357億6,514万円(前年比29.8%増)



## 用語の解説

### 【主な歳入】

- ◎市税：市民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税など
- ◎諸収入：各種貸付金元利収入等
- ◎繰入金：基金(市の預金)を取り崩したお金等
- ◎地方交付税：地方公共団体の財源調整を目的として国から交付されるお金
- ◎国庫支出金・県支出金：特定の事務事業のために国(県)から交付されるお金
- ◎市債：市の事業や国の施策により発行した借入金

### 【主な歳出】

- ◎衛生費：各種検診、予防接種、ごみ処理などの経費
- ◎民生費：福祉、生活保護、子育て支援などの経費
- ◎農林水産業費：農林業の振興、農林道の整備などの経費
- ◎総務費：自治振興、庁舎などの管理、選挙などの経費
- ◎教育費：学校教育や生涯学習(社会教育)などの経費
- ◎土木費：道路や河川等の整備、市営住宅管理などの経費
- ◎公債費：市の借金の返済などの経費
- ◎災害復旧費：東日本大震災、豪雨災害などの復旧の経費

### 【財政健全化判断比率について】

- ◎実質公債比率：実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどのくらいになるのかを示す指標。25%を超えると一部の市債発行が制限されます。
- ◎将来負担比率：実質的な負債の残高が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標。350%を超えると、早期健全化団体となります。
- ◎実質赤字比率、連結赤字比率：赤字だった場合の標準財政規模に占める赤字の割合。平成24年度は黒字だったため赤字はありません。

## 市民1人当りに換算すると

1人当たりの市税負担額 **10万728円**      1人当りに使われたお金 **61万243円**

※平成25年3月31日現在の住民基本台帳人口(58,608人)を基準にしています。

## 市債の残高について

会計	残高	市民1人当たり
一般会計	300億4,816万円	51万2,697円
特別会計	47億9,862万円	8万1,877円
企業会計	116億5,528万円	19万8,868円
合計	465億206万円	79万3,442円

## 財政健全化判断比率について

実質公債比率	13.9%
将来負担比率	103.5%
実質赤字比率	—
連結赤字比率	—

## 東日本大震災・原子力災害からの復旧・復興



▲屋内遊び場「げんきキッズパークにほんまつ」

市民の皆さんの安全・安心を確保するために、生活空間等の除染や災害復旧事業など東日本大震災と原子力災害に対応した復旧・復興事業を積極的に推進しました。

### 生活空間等の除染

○放射能除染事業	50億6,873万円
○水田原発事故対策事業(除染対策)	18億2,004万円

### 市民の健康管理対策

○放射線対策屋内遊び場整備事業	8,551万円
○放射線対策事業(内部および外部被ばく調査等)	5,632万円

### 災害復旧事業

○公立学校施設災害復旧事業(除染対策)	6億2,083万円
○文化財災害復旧事業	7,567万円

## 活力ある産業・観光交流のまちづくり

### 地域の特色を活かした産業の振興、活力と賑わいの創造

農業振興のため、中山間地域等の営農支援や経営基盤の強化を図りました。また、市内産業の振興と経営力向上支援として商工業融資事業などを実施しました。

さらに、観光利用者の利便性の向上や地域の振興のため、道の駅「安達」下り線を整備しました。

○中山間地域等直接支払制度事業	1億9,860万円
○商工業融資事業	6億7,040万円
○道の駅「安達」管理運営事業	3億2,614万円
○道路・橋梁整備事業	8億2,408万円



▲道の駅「安達」下り線

## 人を育てるすこやかなまちづくり

### 子育て支援、次代を担う子どもたちの育成

子育て家庭の経済的負担軽減のため、子ども医療費の助成を平成24年10月からは18歳まで拡大するとともに、安心して出産できるよう妊婦健康診査を実施し、仕事と家庭の両立支援のため、延長保育等を実施する事業者を助成しました。また、教育環境改善のため小・中学校校舎の耐震補強を行いました。

○子ども医療費助成事業(18歳まで)	1億7,676万円	○延長保育促進事業	1,178万円
○妊婦健康診査事業	3,686万円	○学校施設整備事業(耐震補強事業)	3億2,332万円

## 安全・安心、市民の暮らしを支えるまちづくり

### 自然との共生、快適な生活環境づくり

資源回収の推進のため資源回収団体等に助成を行ったほか、生活排水の適正処理のため、合併処理浄化槽設置者に対し助成しました。また、コミュニティバス等の市内公共交通体制の充実や夜間道路の安全性を高めるための道路照明の設置など交通・道路環境を整備しました。

○資源回収事業	415万円	○交通対策事業	1億7,404万円
○浄化槽設置事業	4,071万円	○道路環境整備事業(道路・側溝改修、道路照明設置等)	3,736万円

※平成24年度決算の詳細については、決算書および関連資料を企画財政課(市役所4階)のほか、各支所、住民センター、公民館、図書館に備え付けていますので閲覧ください。